

令和4年度鳥取・島根連携講座（島根県が提供し、鳥取県の教職員が受講できる連携講座）一覧表

分類	講座名 ～サブタイトル～	番号	期日・会場・定員	幼	小	中	高	特	対象者	内容等	外部講師 (講師の所属はR3年度のもの)
教 科 等	小学校算数科教育講座 ～数学的に考える楽しさを知り、算数授業を楽しみMath～	113a	【東部】10月19日(水) 松江市立意東小学校 <1日> 30名		○	○			小学校、中学校、義務教育学校及び特別支援学校教員(小学校数理科採用5・6年目の数学科免許を有する教諭(ただし、令和3年度数理科採用4・5年目研修受講者を除く))	本講座は授業参観や研究協議を通じ、学ぶ楽しさを感じ、数学的に考える資質・能力をそだてるための授業力向上をめざすものです。今、求められている「資質・能力ベース」の授業を模索している先生方には是非参加してほしい講座です。	島根大学教育学部 講師 下村 岳人
		113b	【西部】10月6日(木) 浜田市立国府小学校 <1日> 30名							実施形態 講義、グループ協議	島根県立大学 教授 齊藤 一弥
	小学校理科教育講座 ～子どもの主体的な問題解決を実現し、資質・能力を育成する理科の授業づくり～	1136	7月1日(金) 島根大学教育学部附属義務教育学校前期課程 <1日> 20名		○				・小学校・義務教育学校前期課程の教員及び特別支援学校の教員 ・数理科採用の小学校・義務教育学校前期課程の教員のうち、教職経験5年目及び6年目(6年目研修受講者)の者で、理科の免許を有する者は必修。ただし、令和3年度に「数理科採用4年目研修及び5年目研修」を受講した者を除く。	鳴川哲也調査官による講義及び授業参観や研究協議を通して、子ども主体の問題解決の活動を実現し、資質・能力を育成する理科の授業づくりについて考え、理科の授業改善及び指導力の向上を図ります。	文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 国立教育政策研究所教育課程研究センター 研究開発部教育課程調査官・学力調査官 鳴川 哲也
	小学校理科教育(基礎・基本)講座 ～問題解決の活動を踏まえた、基礎的な観察・実験技能の習得～	1279	9月9日(金) 島根県教育センター <1日> 20名		○				小学校・義務教育前期課程の教員及び特別支援学校の教員	講義、演習等を通して、問題解決の活動を重視した理科の授業づくりについて理解し、基礎的な観察・実験技能の習得を図ります。理科の授業に苦手意識をもっている先生方には是非参加してほしい講座です。	指導主事
	中学校理科教育講座 ～「主体的に学習に取り組む態度」を見取る理科の授業づくり～	1151	11月25日(金) 島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程 <1日> 30名			○	○		中学校・義務教育学校後期課程、高等学校、特別支援学校(中学部・高等部)の理科担当教員	研究授業及び研究協議を通して、生徒の「主体的に学習に取り組む態度」を見取るための理科の授業及び評価の在り方について考えます。また、演習を通して「主体的に学習に取り組む態度」を見取るための理科の授業づくりを行います。	指導主事
	「総合的な学習の時間・総合的な探究の時間」講座 ～探究的な学習の過程、探究の過程の質的な充実を目指して～	1205	5月18日(水) 所属校(オンライン) <1日> 30名		○	○	○		小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の教員	「総合的な学習(探究)の時間」の在り方や「探究的な学習の過程」および「探究の過程」の質的な充実を図るための方法について学び、指導力向上をめざすものです。	関西大学総合情報学部 教授 黒上 晴夫
	小学校道徳教育講座 ～道徳科における「主体的・対話的で深い学び」の授業づくり～	1280 a	11月18日(金) 松江合同庁舎 <1日> 30名		○				小学校、義務教育学校前期課程の教員	講師の島恒生教授は、道徳授業の工夫・改善に係る研究、諸外国の道徳教育と我が国の道徳教育の比較研究等を進められている。本研修では、道徳科における「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりをする際のポイントや評価の在り方の理解を図ります。	畿央大学大学院 教授 島 恒生
	小学校生活科教育講座 ～子どもの目線で考える生活科の授業づくり～	398	9月22日(木) 所属校(オンライン) <1日> 15名		○				小学校及び義務教育学校(前期課程)・特別支援学校(小学部)の教員	生活科の授業づくりで大切なことは何でしょう。何となく進めていた授業を、もう1度見つめ直してみませんか?文部科学省の齋藤先生を招き、気づきの質を高める授業づくりについて研修します。	文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官 齋藤 博伸
	小学校図画工作科教育講座 ～造形的な見方・考え方を働かせる図工の授業を考えよう～【生活を楽しくする“工作”編】	639	9月13日(火) 浜田教育センター <1日> 15名		○				小学校及び義務教育学校(前期課程)・特別支援学校(小学部)の教員	絵や立体、工作に表す活動の「工作」に焦点を当て、題材開発と授業改善を目指します。子供たちが「つくり、つくりかえ、つくる」中でどんな思考を働かせているか、講義や体験を通して考えてみましょう。やっぱり図工って楽しい!を体感しませんか?	島根県立大学 准教授 福井 一尊
	中・高等学校美術教育講座 ～生徒が主題を見いだすための授業のヒントを考える・立体作品の表現を中心とした講義と演習～	1256	9月15日(木) 浜田教育センター <1日> 15名			○	○		中学校・義務教育学校後期課程・高等学校・特別支援学校(中学部・高等部)の美術科を担当する教員	主に彫刻の制作による立体表現に焦点を当てた講義と演習による1日研修です。生徒が主題を生み出すために何が必要か、体験を通して実感的に理解することを目指しています。美術教員の“つながり”を、ここで作りませんか?	島根大学 教授 藤田 英樹
中・高等学校音楽科教育講座 ～生徒の思考・判断のよりどころをどう決める? 指導と評価の一体化を図った授業展開の工夫～	781	(第1回) 7月8日(金) 所属校(オンライン) <1日> 40名 (第2回) 2月3日(金) 所属校(オンライン) <午後> 40名			○	○		中学校及び義務教育学校(後期課程)・高等学校・特別支援学校(中学部・高等部)の教員 ※2回とも参加できる方	生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素をどう設定したらよいのだろうか?指導と評価の一体化を図った授業改善のために何をしたらよいのだろうか?など、これからの授業づくりを考えていきましょう。	文部科学省 初等中等教育局教育課程課 教科調査官 河合 紳和	
小・中学校社会科教育講座 ～問題解決的な学習の過程を充実させる小学校社会科の単元づくり～	1250	9月6日(火) 島根県教育センター <1日> 40名		○				小学校及び義務教育学校前期課程・特別支援学校(小学部)の教員	本講座では、小学校社会で求められている問題解決的な学習の過程の充実に向け、学びを深めていきます。社会科の専門ではない…社会科の授業をどう進めたらよいかなど、お困りの方におすすです。	国士館大学 教授 澤井 陽介	

分類	講座名 ～サブタイトル～	番号	期日・会場・定員	幼	小	中	高	特	対象者	内容等	外部講師 (講師の所属はR3年度のもの)
教育課題	学校図書館を活用した授業改善講座 ～学校図書館×教科等横断『ひろがる・つながる』子ども達の学び～	1235	11月10日(木) 浜田教育センター <1日> 30名		○	○	○		小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の教員(ただし、希望者多数の場合、中学校・高等学校の教員を優先する)	この研修は学校図書館を活用して、子ども達の学びを変えていくための授業改善講座です。教科等横断の視点をポイントにして、子ども達の学びを教科書や1つの教科で閉じずに、つなげたり、広げたりしていく授業改善をめざします。 実施形態 講義、演習	放送大学 客員准教授 塩谷 京子
	子ども支援実践講座 ～学校と福祉の連携による子ども支援～	1253	9月16日(金) あすてらす <1日> 30名		○	○	○		小・中学校及び義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の教職員	学校と福祉の連携の必要性について理解するとともに、児童生徒やその保護者等の抱える困難を早期に発見し、適切な支援先につないでいくために必要なことを学びます。 実施形態 講義、演習	指導主事
	国立療養所長島愛生園訪問研修 ～ハンセン病療養所長島愛生園の歴史館見学とフィールドワーク～	1284 a 1284 b	【西部】7月29日(金) 浜田教育センター集合 【東部】8月5日(金) 島根県庁集合 <1日> 貸切バスを利用 します 国立療養所長島愛生園(岡山県瀬戸内市) 各30名		○	○	○		小・中学校及び義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員 ※今までにハンセン病療養所に訪問経験のない方を優先とする。	【西部】※浜田教育センターを発着とし、貸し切りバスで出かけます。 【東部】※島根県庁を発着とし、貸し切りバスで出かけます。	国立療養所長島愛生園歴史館学芸員
生徒指導・教育相談・特別支援教育	不登校の理解と支援講座 ～不登校の要因や背景について理解を深め、よりよい支援について考えたい方へ～	921	6月30日(木) 松江合同庁舎 <1日> 60名		○	○	○		小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の教職員	島根県の不登校の現状や要因、背景について知り、よりよい支援の方法を見つけた方を対象としています。不登校の子どもたちの思いや願いによりそう支援のヒントや明日からのかかわりに向かう元気を得ることができる講座です。 実施形態 講義、グループ協議	立命館大学 大学院教職研究科 教授 春日井 敏之
	生徒理解と支援講座 ～子どもの理解を深め、かかわりを見なおしたい方へ～	1042	9月16日(金) 松江合同庁舎 <1日> 60名		○	○	○		小・中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の教職員	子どもの理解を深め、かかわりを見なおしたい方を対象としています。様々な視点から、子どもの理解と支援について学びます。明日からの支援のヒントと元気を得られる講座です。 実施形態 講義、グループ協議	島根大学 人間科学部 教授 岩宮恵子
	児童理解と支援講座 ～子どもの願いに寄り添うための教師の基本姿勢～	1068 b	11月15日(火) 所属校(オンライン) <1日> 60名		○	○	○		小・中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の教職員	子どもの発達特性を理解し、子どもの願いに寄り添った支援について学び、実践に生かす目的です。通常の学級等における特別な支援を必要とする子どもの困難さの理解と支援について学びます。 実施形態 講義、演習	大阪医科薬科大学LDセンター オプトメトリスト 奥村智人
	教職員のかかわる力を高める実践講座 ～子ども、保護者、同僚とのかかわりをよりよくしたい方へ～	1100	11月4日(金) 島根県教育センター <1日> 30名		○	○	○		小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の教職員	子ども、保護者、同僚とのかかわりをよりよくしたい方を対象にした実践的講座です。少人数グループのあたたかい雰囲気の中で体験的に学びます。明日から使える新たなかかわりのヒントを見つけに来ませんか。 実施形態 グループ協議	県内講師
	特別支援教育専門講座 ～子どもの実態からICTの活用の仕方を考える～	1215	9月9日(金) 島根県教育センター <1日> 51名		○	○	○		小・中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校の教職員	学習や生活面で困難さがある子どもの可能性を広げるために、タブレット端末が使えるのではないかと考えている方にお勧めです。子どもの実態把握を基にしてタブレット端末を活用する方法や具体的な取組を氏間先生に紹介していただきながら、講義演習を通して学んでみませんか。 実施形態 講義、演習	広島大学大学院人間社会科学研究所 准教授 氏間 和仁
	特別支援学校・特別支援学級における授業づくり講座 ～「できた」「わかった」「もっとやりたい」を引き出すためのICTを活用した授業づくり～	1143	10月7日(金) 浜田教育センター <1日> 40名		○	○	○		小学校・中学校・義務教育諸学校・高等学校・特別支援学校の教職員	子どもの「できた」「わかった」をICTを活用することでより引き出したいと模索している先生にお勧めです。特別支援教育におけるICT活用の基本的な考え方、iPadを活用した授業実践について学びます。 実施形態 講義、演習	<午前> 香川大学 教授 坂井聡 ※講師のみオンライン <午後> 佐賀市立本庄小学校 教諭 木田啓二
	よりよい関係づくり実践講座 ～教育相談・生徒指導の実践力を高める～	1222	7月28日(木)～29日(金) <2日間> 浜田教育センター <1日> 28名		○	○	○		幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の教職員	教育相談・生徒指導について講義から学んだ後、4グループに分かれて体験的な研修を行います。「カウンセリング的なコミュニケーション力」「子どもとのかかわる力」「保護者・同僚とのかかわる力」「事例から学ぶ力」のいずれかです。 実施形態 講義、演習	スクールカウンセラー 福田 彰(講義・演習) スクールカウンセラー 森田 清(演習) ほか県内教職員・指導主事等
オンラインでもデキル！学級作り仲間作り講座 ～新しい学校生活様式の中での学級づくりを演習を通して考える～	1254	6月29日(水) 所属校(オンライン) <1日> 30名		○	○	○		小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	小林先生はアクティブラーニング、アクションラーニングに関する著書も多数執筆しておられ、近年は教育関係者向けの有料オンライン講座でも講師を務めておられます。毎日更新しているブログを読んでも魅力が伝わりますよ。ぜひ検索を！ 実施形態 講義、オンライン協議	(株)AL&AL研究所 代表取締役 小林昭文	